

おかやまこうとうがっこう

づく

しょうひ

## 岡山高等学校コメ作り×エシカル消費プロジェクト

～「ツバサクラ」から広げる課題解決の輪～



水田での牡蠣殻散布の様子



開発商品の「里海米」と「syako can」

## 経緯

○コロナ禍、米の取引量が激減し、苦境に立たされた農家の状況に触れ、令和3年1月、2年生が「総合的な探求の時間」を活用し、米の栽培を通じたエシカル消費の啓発活動を開始。

## 取組内容

- 「瀬戸内かきがらアグリ」事業に参加し、牡蠣殻を土壌改良材として水田に還元する「里海米」を生産。生徒が栽培した米を商品化し、高校キャラクター「つばさくん」「さくらちゃん」にあやかり「ツバサクラ」と命名。
- 瀬戸内海の環境課題啓発のため、高校内の他テーマを探究するグループと協働し「syako can」(シャコのリゾット缶詰)を開発・商品化し、各種イベントで販売。

## 活動の効果

- 高校生の活動として発信を行うことで、これまで情報を届けることができなかった対象に取組を伝えることができ、認知拡大に貢献。
- 地域法人と連携し「ツバサクラ」を使用した防災食レシピを考案し、「おかやまSDGsフェア」飲食ブースで調理・販売。
- 今年度から「瀬戸内かきがらアグリ」事業に参加する他校と連携。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

「ツバサクラ」を活用した他団体との協働をさらに広げ、県内農産物を用いた地域の課題解決と活性化に貢献したい。

卒業生の中から大学で農学や地域学を専攻する事例もあり、プロジェクトを通じた長期的な地域人材育成も見据えて活動を継続していきたい。

## 住所・電話番号・SNS等

岡山市南区箕島1500 Tel:086-282-6336

奨励賞

ゆうげんがいしゃさかもとけいらん

## 有限会社阪本鶏卵

## エッグマルシェ ～ 卵で地域活性化 ～



令和5年夏エッグマルシェ開催



出店者とボランティアスタッフ

## 経緯

- 卵は長年物価の優等生として販売価格が上がっていない。これを脱却するため卵の新たな価値をつくる必要性を感じていた。
- 卵の生産者ができる地域貢献や卵の魅力を広く発信していく方法を模索し、卵が中心となったマルシェイベントの開催を思いついた。

## 取組内容

- 卵を中心としたマルシェイベント「HOSHINOSATO EGG MARCHE」(以下エッグマルシェ)は令和3年秋、井原市美星町にある美星直売所にて、出店3店舗からスタート。
- 開催告知を、出店者、町の飲食店、観光案内所などで行うなど、地域がチームとなり、エッグマルシェを作る事を目指し取り組んでいる。
- 新しい取り組みを積極的に行い、開催ごとに新商品のお披露目などを実施。

## 活動の効果

- イベント創出により、5名の地域スタッフを雇用。
- 各出店店舗がチームとなりエッグマルシェを作り上げることによって、各出店店舗のファンを地域内外から呼び込む事で、卵や地域の良さを実際に感じていただける効果が高い。実際にエッグマルシェはリピーターが多い。
- 近隣の飲食店にエッグマルシェ経由の来店があったり、出店者同士のコラボレーションが生まれたり、イベントを開催する事での波及効果があった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

令和5年春の開催からは、ボランティア制度の運用を開始し、会場設営などの様々な手伝いをお願いしている。地元の女子バレーボールチームもボランティアスタッフとして参加し、地域の輪がどんどん広がりをみせている。

## 住所・電話番号・SNS等

倉敷市南畝3-13-31 Tel:086-455-7370 <https://www.sakamoto-egg.com/>

とみながくにひこくにみまる

## 富永邦彦(邦美丸)

## ～ 完全受注漁による持続可能な漁業 ～



国内初の「完全受注漁」に取り組む富永夫妻



鮮魚セットを作っている様子

## 経緯

○現在の漁業は、過剰な漁獲による環境負荷、漁獲量や価格の変動による不安定な経営、漁師の過労、後継者不足が問題。問題解決には、根本的な働き方改革が必要と考え、新たな「完全受注漁」の取組を開始。

## 取組内容

○完全受注漁は、消費者から事前注文を受け、必要な魚だけ漁獲し、その他をリリースする漁業システム。  
○「あなたの専属漁師」をコンセプトに、ECサイトやSNSを活用し、情報発信や受注を実施。飲食店や一般家庭に、新鮮な魚を確実に届けることで、多くの顧客を獲得。販売価格は、自社が設定し、直接販売することで、経営を安定化。

## 活動の効果

○完全受注漁は、水揚げを効率的に管理することで、売り上げを維持し、労働費、燃料費、資材費等を抑制。また、漁業のイメージを変え、当地域でも漁業就業の問い合わせが増加、新たに取り組む漁業者が現れるなど地域が活性化。  
○この持続可能な取組は、資源を守りながら働け、SDGsにも貢献でき、海外からも講演・取材のオファーを受けるなど、国内外が注目。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

完全受注漁の導入で労働時間が削減され、地域漁協と連携し、漁業体験等の地域サービス提供に取り組み、地産地消も推進することで、地域活性化に貢献していきたい。  
持続可能な漁業の実現で、漁業への参入を奨励し、取組を未来の世代へと繋いでいきたい。  
一次産業は「自然相手だから仕方ない」と、家族との時間を犠牲にして成り立ってきたが、完全受注漁の導入で、家族との時間を確保できるようになった。

## 住所・電話番号・SNS等

岡山市玉野市胸上1109-5 Tel:080-6240-9230

えぬびーおーほうじん うみ こうしゃおおしまひがししょう  
**NPO法人 海の校舎大島東小**

～瀬戸内沿いの木造校舎をシェアアトリエに～



教室がアトリエに



革製品の職人の制作風景

### 経緯

- 風情ある木造校舎で目の前に海が広がる大島東小学校が廃校になることを知った市内在住のクリエイターが、地元の住民組織や市に工房としての活用を働きかけた。
- 地域住民の思いと一致し、市から賃借する形でシェアアトリエとして令和3年7月に再スタート。

### 取組内容

- 廃校になった小学校の教室を17事業者が工房やアトリエとして活用。
- これまでに4回、マルシェ「うみの市」を開催。シェアアトリエ入居者や市内外の店舗が雑貨や食品を販売。
- 令和4年2月からアトリエの作業風景の見学や製品の購入ができる「開放日」を月に1度開き、大島地区のにぎわいを創出。

### 活動の効果

- 同じ建物に異業種のアトリエを設けることで、家具職人やデザイナー、画家、帽子メーカー、デニムアパレルなどの事業者間で情報交換や相談する機会も多く、コラボレーション商品が開発されるなどの独創的な発想が生まれる空間となっている。
- これまで4回開催したマルシェ「うみの市」には毎回2,500人近い人が訪れるなど、大島地区の関係人口の増加に大きく寄与し、県外からの出店者、来客も増えつつある。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

本取組は、大島地区が一体となって地区を活性化させるために立ち上げたプロジェクト。建物や施設の維持管理費の確保等課題は多々あるが、今後は子供たちに「ものづくり」に触れることができる場の提供など、新しい取組も進めていきたい。

### 住所・電話番号・SNS等

笠岡市大島中2553 MAIL:uminokousha@gmail.com

かぶしきがいしゃ  
 レッドライスカンパニー株式会社

～岡山の赤米を地域の財産に、そして世界へ～



赤米フェスタ中の写真



赤米田植えイベント(市内の親子が対象)

## 経緯

- 東京での岡山県の認知度の低さに衝撃を受け、岡山県をPRするため特産品である赤米に注目し、赤米を使用した商品展開を目指し起業。
- 加工品の価格を抑えるため、自社でも栽培を開始。
- 地元の子供などへ赤米を周知するため様々なイベントを開催。

## 取組内容

- 赤米の神饌において、古代より使われている「総社赤米」の遺伝子を継承した「あかおにもち」を生産。赤米の栄養成分をアピールした商品の開発・販売など、赤米を中心とした6次産業化を実践。
- 平成30年から学校給食に赤米を導入し、現在月1回市内の小中学校で提供。
- アジア圏へ桃ネクター、米国へ甘酒を輸出し、輸出先国の高所得者層から注目。

## 活動の効果

- 赤米保存会と連携し、大学等にDNA解析や機能性分析を依頼。赤米甘酒や赤米粉で着色料不使用の紅白餅は、健康志向の高い消費者から人気。
- 規格外の果実を集荷し、フルーツ甘酒等の加工・販売を行い、農家の新たな売り先及び足の早い果実を県外にPRする手段となる等、岡山県果樹農業に貢献。
- 平成27年から赤米フェスタを開催し、多くの人の参加とともにメディアが多数訪問するなど、新たな観光資源を創出。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

子供たちが赤米を伝統ある「宝」として認識し守っていくための食育活動のほか、時代のニーズを見据えた商品づくりで、岡山県特産品の知名度を向上させたい。

住所・電話番号・SNS等

総社市上原162-2 Tel:0866-90-3117

いっぽんしゃだんほうじん

## 一般社団法人 みんなでびぜん

～子どもたちを海へ～



アマモ流れ藻回収をする中学生



海ごみ回収をする小学生

## 経緯

- 昭和60年から日生町漁業協同組合が取り組むアマモ場再生活動に、地元小中高生や消費者団体が参画し、活動が拡大。
- アマモサミットin備前の開催を契機とし平成31年に当法人を設立。
- 令和3年、海を身近に感じ体験を通じ学べる拠点として、「渚の交番ひなせうみラボ」が誕生。

## 取組内容

- 日生町漁業協同組合と連携して、子供、市民、様々な業種の人達とのアマモ場再生活動を展開。
- 海岸でのゴミ拾いなどを通して、海洋プラスチックごみの環境問題を子どもたちと共に学ぶ。
- 上記の他に、牡蠣むき、底びき網漁業体験など、様々なプログラムを提供。

## 活動の効果

- 「渚の交番ひなせうみラボ」を拠点に、地域資源を活かした海洋教育・体験を推進し、子供たちが身近に海に接し、海の大切さを知ることなど、次世代の子どもたちが海をより「自分ごと」として捉え、未来へ引き継ぐ行動の輪を拡大。
- 環境問題として海洋ゴミ問題が注視されるなか、瀬戸内海の上陸困難な島々の海岸へ、上陸舟艇を用いて漂着ごみの回収を行っている。多くの子どもたちがボランティアとして海洋ゴミ回収を行い活動の輪を拡大。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

次世代を担う子供たちに海の大切さを伝え、活動を継続することで、未来に引き継ぐ場を提供していく。

現在は、海を中心に活動を展開しているが、森・川・里・海のバランスが重要視される中、里山の子供たちとも交流を行い、共に学んでいきたい。

## 住所・電話番号・SNS等

備前市日生町日生3518-5 Tel: 0869-72-2000

ひがしつるやまちく

げんき

きょうぎかい

## 東鶴山地区を元気にする協議会

～ふるさと再生 女性・高齢者の活躍や小学生との交流～



「花しょうぶ園」へ子供園の園児を招待



ふるさとサロン

## 経緯

- 少子高齢化が進み、空き家や耕作放棄地が増加し、山林の管理も問題化。
- 集落機能の維持・強化や地域の活性化を目的「おかやま元気集落」に登録し、空き家対策や6次産業化に取り組み、人口の減少を食い止めたいと協議会を設立(平成27年)。

## 取組内容

- 耕作放棄地を整備し、花しょうぶ園や栗園を管理。花しょうぶ狩りや栗拾いを通じて子供園園児、小学生達と交流。また、当該地区の道路のゴミ収集・清掃等を実施、地域活動(運動会等)に参加。
- 地元産を使用し、黒ニンニクを製造。果物、野菜の6次産業化にも取り組む。
- 週5日の軽食喫茶や月1回の「ふるさとサロン」を開催。女性や高齢者の憩いの場を提供し、地元野菜などの加工品を販売。

## 活動の効果

- コロナ禍で中止のイベントも再開し、地域内外の交流が活発化。併せて地元の果物や野菜を使った加工品の製造・販売をすることで、地域活性化への意識が向上。
- 女性部会会員がふるさとサロン等を開催し、野菜や加工品を販売することにより、女性・高齢者が活躍。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

サロンなどのイベントの開催に加え、地域内外のイベントに積極的に参加し、地域住民や会員相互の交流・連携をより活発化していきたい。

6次産業化に積極的に取り組み、地域の特産品作りや魅力発信を行うことで、耕作放棄地や空き家の増加に歯止めをかけたい。

海や山や里などの豊かな自然環境を活かし、若年層の定住化、子育てしやすい環境形成に取り組み、人口の減少を食い止めたい。

住所・電話番号・SNS等

備前市佐山1592-1 Tel:0869-65-8201

えぬぴーおーほうじん まにわ

## NPO法人真庭めぐりガーデンプロジェクト

～つながる ひろがる 循環する～



てもて村プロジェクト（大工さん木工教室）



お節介野菜をカットする高齢者達

## 経緯

- 少子高齢化や人口減少が進み、人手不足による山林や農地荒廃などが問題化。
- 地域にある食・農業・文化・福祉・観光資源を活かすべく、これらを総合的につなげていく循環型社会づくりの実践を開始。未来の担い手養成と多世代交流を循環型社会づくりの中で実践する組織を設立。（平成28年）

## 取組内容

- 真庭市内の田んぼで平成29年以降、米作りを中心とした自然体験活動を実施。
- 令和元年から「てもて村プロジェクト」を始動。昔ながらの農村体験、遊びの中から「生きる力と知恵」について実感を持って学べる場を提供。
- 令和元年から市場に出せない規格外の野菜を高齢者がカットし、もったいないを形にした「お節介野菜」として販売。食品ロスを生まない取組の実施と高齢者の生きがいを創出。

## 活動の効果

- 自然体験活動には、毎年150人を超える親子が参加し、地域活性化や地産地消の取組として定着した。
- てもて村プロジェクトを通じ、地域内外の多様な関係者・多世代との連携・交流が図られた。
- お節介野菜では、年間19トンの野菜が捨てられることなく食品ロスが削減され、地域の高齢者の生きがいを創出した。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

地域の食を通して誰一人取り残さないために、貧困や不登校の子の居場所づくりにも力を入れ、地域の人との交流を促進していく仕組みづくりを実装する。

また、お節介野菜の販路を開拓し、市内全域に活動拠点を増やしながら食品ロスを減らす循環型社会の範囲を広げていきたい。

住所・電話番号・SNS等

真庭市中396-1 Tel:0867-45-7776

なかつい かい いさんぼぞんぶ  
中津井せんだんの会 遺産保存部

～悠久の里中津井地区の遺産整備・保守・伝承・発信～



軍配を片手に新春の抱負を力いっぱい叫ぶ



大谷古墳入口の植込み剪定状況

## 経緯

- 中津井地区は、湧水を多く有し、穀倉地帯として古くから栄え、歴史遺産や文化遺産が豊富な地域であるが、地元住民の高齢化が進み、後世への継承が厳しい状況になった。
- 平成30年、中津井せんだんの会内に遺産保存部を設置し、遺産の保存整備や後世への継承活動を行っている。

## 取組内容

- 備中三名城と言われる佐井田城址への登山道の整備、城址内の伐採、案内看板の設置。
- 毎年恒例の新春ウォーキングでは、軍配を片手に新春の抱負を力いっぱい叫ぶイベントを実施。
- 国指定史跡「大谷古墳」、「定古墳群」周辺の環境整備、来訪者への説明、案内等の活動を実施。昨年は案内石碑の洗浄と文字の塗布、植込みの剪定、草刈等を実施。
- 地元小学校の校歌に歌われている「塩川の泉」（湧水の一つ）周辺の環境整備を実施。

## 活動の効果

- 毎年恒例の新春ウォーキングは、子供から大人まで楽しめる地域イベントとして定着、甲冑姿の武将も参加するなど、地区内外から多くの人が集まる場になった。
- 環境整備を行ったことで、大型バスでの来訪等があり、来訪者との交流や地域の誇りと歴史の発信ができた。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

中津井地域の史跡を巡るウォーキングコースを作り、文化遺産の伝承・啓発活動等に有効活用する。また、案内看板等の充実を図る。

地域の歴史的な史跡を通じて、先人たちの知恵、発想を学習し、その歴史が現在の地域を育てていることを、楽しみながら後世に伝える生きた学習の場にしたい。

## 住所・電話番号・SNS等

真庭市下中津井1000 Tel:080-1917-8436

ふあーむ りぞーと

ひがしあわくらのうはくすいしんきょうぎかい

## FARM RESORT あわのわ(東栗倉農泊推進協議会)

～岡山のとっぺんでグランピング×田舎体験～



ジビエ等の地域食材のBBQメニュー



ロゴマーク



人気の魚つかみ取り体験

## 経緯

- 平成27年、地域おこし協力隊として東栗倉地区に赴任した隊員が農家民泊をスタート。その宿を中心に地域を巡るツアーを定期的で開催。
- 令和元年、活動を一層推進するため、農家や川魚養殖業者、観光協会等と連携した農泊推進協議会を結成。

## 取組内容

- 個人事業主が連携し、東栗倉地区全体を体験フィールドとして、宿泊型の農村リゾートを展開。
- 一棟貸しの宿で味わうグランピング、ジビエ等の地域食材で作るバーベキュー、魚のつかみ取りなど、体験型メニューで利用者が楽しめる工夫を実施。
- ロゴマークには、地域の名前にもなった粟(あわ)がつながり合い、あわくらが続いていく、そんな思いを表現。

## 活動の効果

- メディア等で取り上げられることも増え、令和4年はJTB発行の「今泊まりたい一棟貸しの宿100」に協議会の宿が掲載された。
- おしゃれさや快適さを備えたグランピングの要素を取り入れたことで、若者グループやファミリー層の利用が増えた。
- 田舎らしさ、おしゃれさ、快適さを備えた施設として地域との差別化を図り、コロナ禍においても宿泊者数の増加につながった。

## 応募団体からのアピール・メッセージ

今後は、地域内の空き家を活かした新たな宿泊施設の開業、棚田景観を活かした棚田夕日ツアーなども展開していきたい。

住所・電話番号・SNS等

美作市後山1431-1 Tel: 090-1181-7851

いっばんざいだんほうじん やかげちょうかんこうこうりゅうすいしんきこう

## 一般財団法人矢掛町観光交流推進機構

～桃源郷はなしの里で体験する、古き良き日本の田舎～



米粉を使ったピザ作り体験



山芋(自然薯)掘り

### 経緯

- 桃源郷はなしの里は、自然に囲まれた古き良き日本を感じられる中山間地域であるが、この地域を訪れる人はほとんどいない状況。
- 地域住民が中心となって地域振興を図ることを目的として、宿泊施設・飲食施設・キャンプ場などを整備し、その運営とPR活動を進めた。

### 取組内容

- 既存のキャンプ場に加え、宿泊施設とキャンピングトレーラーを設置し、多様なスタイルの農泊に対応。
- 畑や栗園も整備し、農業体験や自然体験イベントを実施。マイクロツーリズム、学生交流事業等の受入を開始。
- 米粉を使ったピザ作り、山芋掘りなどのイベントを開催。収穫等の作業は、地域住民が説明・指導を行い、来訪者と交流を実践。

### 活動の効果

- 多様なスタイルの農泊を可能にし、令和4年のキャンプ場の利用者は、令和2年に比べて6倍と大幅に増加。
- 利用人数の増加と共に地域住民の協力度もあがり、住民による道路の整備や草刈り等、地域全体の美化が促進。
- 農業体験では、農産物の作付・収穫等で利用者と農家とのコミュニケーションが取れ、双方共に楽しみながら交流できる貴重な場となっている。

### 応募団体からのアピール・メッセージ

桃源郷はなしの里での宿泊や体験だけでなく、伝統的建造物群保存地区である矢掛の町並みを観光したり、夜は隣町の美星天文台で星の観測をしたりと、農泊をしながらも幅広い楽しみ方ができることをPRしていく。

### 住所・電話番号・SNS等

小田郡矢掛町矢掛1989 Tel:0866-83-0001 <https://japan-yakage.jp/>